

H369.5

5.8(14)

日语注释文选

北 京 出 版 社

14

日 语 注 释 文 选

第十四辑

《日语注释文选》编辑组 编

北 京 出 版 社

日语注释文选

第十四辑

《日语注释文选》编辑组 编

*

北 京 出 版 社 出 版

(北京崇文门外东兴隆街 51 号)

新华书店北京发行所发行

北 京 印 刷 一 厂 印 刷

*

787×1092 毫米 32 开本 5.75 印张

1983 年 8 月第 1 版 1983 年 8 月第 1 次印刷

印数 1—15,000

书号: 9071·102 定价: 0.50 元

目 录

一	市長さんの気圧計	1
	附参考译文：市长先生的气压计	
二	人を表わすことば	11
三	日本の農業	28
	附参考译文：日本的农业	
四	色の感じとくらし	44
	附参考译文：色感与生活	
五	心と言葉	51
六	散歩	61
	附参考译文：散步	
七	おかの家	70

附参考译文：山冈上的房屋

八 生きてゐる土 78

附参考译文：活的土壤

九 蛋白質の歴史 92

附参考译文：蛋白质的历史

十 千四百人の食器 101

附参考译文：一千四百人的餐具

十一 殿様の茶碗 105

附参考译文：国王的碗

十二 日本の国土 123

附参考译文：日本的国土

十三 停車場で 128

十四 国語辞典の引き方 134

十五 日本人の一生 連載 VI 138

附参考译文：日本人的一生

十六 留学生の会話 連載 VI

附参考译文：留学生会话

.....

161

市長さんの気圧計きあつけい

天気うらない①からぬけだして、器械きかくを使って天気予報をしようと考えるようになった②のは、いまから三百年ほどまえのことです。

温度計の発明

まず、一五九二年ごろ、イタリアのカリレイが温度計おんどけいを発明しました。先を球にした③ガラス管かんを水のなかに立てたもので、温度によって球のなかの空気の体積が変わると④、管くだのなかの水面が上がり下がりして、温度がわかるしかけです。だが、あまり正確ではありませんでした。

一六四〇年ごろになると、イタリアのフーレンツェの学者が、空気をぬいたガラス管にアルコールをつめて、アルコール温度計をつくりました。一七二〇年には、オランダのフーレンハイトが、最初の水銀温度計すいぎんおんどけいをつくりました。こうして温度の測定そくは、しだいに正確にできるようになりました。

気圧計の発明

一方、気圧計をつくってはじめて天気予報をしたのは、ドイツのマゲデブルグ市の市長であった⑤ゲリーッケで、一六六〇年ごろのことです。

ゲリーッケは器械が好きでした。ポンプを使って、いろいろなもののなかの空気をぬき、真空の試験をしました。

あるときゲリーッケは、水おけのなかに長い管を立て、管の上端をふさいで、管のなかの空気をぬくと、水は管のなかをのぼってきました。

「どこまで水はのぼってくるのだろうか。」

ゲリーッケは管を長いものにとりかえて、二階の窓にとどくようにしました⑥。やはり、水はのぼってきました。管をつぎだして三階にとどくようにしても⑦、水はのぼってきました。さらに長くして四階までのぼしたときは、水は管のてっぺんまでのぼらず三階と四階のところで止まりました。

ゲリーッケは、水が止まるあたりの管の一部にガラスをはめて、外から水が見えるようにしました。管のなかの水の柱は、地面からほぼ10 mの高さがありました。

ゲリッケはやがて、日によって、水の止まる位置が高くなったり低くなったりする⑧ことに気がつきました⑨。ゲリッケはガラスのおきに目盛りをきざみ⑩、水面に小さな人形をうかせました。水柱の高さを人形で読みとるようにしたのです。

毎日、人形をながめているうちに⑪、ゲリッケはふしぎなことに気がつきました。天気によって水柱の高さがちがうのです。晴れた日は高く、雨の日は低くなります。

「水の管のなかを上がるのは、水おけの水面を空気がおしているからだ⑫。水が10 mより高く上がらないのは、空気が水面をおす力が、10 mの水柱の重さと等しくつりあっているためだ。でも天候によって、水面をおす空気の力が、強くなったり弱くなったりするにちがいない⑬。そのために、水柱の高さが変わるのだろう。」

と、ゲリッケは考えました。

気圧と天気の関係

ある日、人形が、いつもよりぐんと下に下がっていることを発見しました。ゲリッケは、きんちようした顔つきになりました。

「こんなに人形が下がったことはじめてだ。これは何か⁽¹⁴⁾おこるにちがいない。」

ゲーリックは市役所へとんでいって、

「あらしがくるかもしれないぞ⁽¹⁵⁾。」

とつげました。

人びとは空を見あげて笑いました。

「市長はどうかしているよ。こんなに天気がいのに⁽¹⁶⁾、あらしがくるというんだから……。」

ところが、二時間もたたないうちに、風がピューピューふきだしたのです。

「あたった、あたった。」

あらしのおそろしさもわすれて、ゲーリックは喜びました。

「なんて天気予報のうまい市長さんだろう⁽¹⁷⁾！」

町の人たちは、すっかり感心し、ゲーリックの評判^{ひやうばん}は、ますます高くなりました。

ゲーリックの⁽¹⁸⁾考えたように、大気^{たいき}の圧力^{あつりよく}（気圧）は、しじゅう変わります。ゲーリックは、気圧と天気^{きしやう}が深いつながりがあることを発見しました。

こうして、器械^{きしやう}を使って、気象^{きしやう}を観測^{かんそく}する学問のみちは、すこしずつひらけてい

きました。

しかし、そのゲーリッケもごく特別のときがいはい、天気を予報することはできませんでした。天気の子報には、もっとたくさんの場所の気圧を調べたいのです。

注 释

① 「うらない」 为动词「占う(うらなう)」的名词形，意思「占挂、算命」。

② 「ようになる」 接在动词、部分助动词的连体形后面，表示事物本身发生的变化或客

种地步。

例：日本語で手紙が書けるようになる。(将能用日语写信。) 郊外もバスが通れるよう

郊区也已

③ 「先を球にした」 意为「使顶端呈球形」，修饰「ガラス管」。

④ 接续助词「と」，接在动词、助动词的终止形后面，除表示动作几乎同时或相继发生外，还可表示前后两个事项的假设关系，意为「一…就…」，「如果…就…」。

⑤ 「であった」 是由判断助动词「だ」的连用形「で」加「ある」构成的。相当于汉语的「是」。这里的「であった」可译为「作为」。

⑥ 「ようにしました」 接在动词、部分助动词的连体形后面，表示目的、目标。有「务必做到…」的意思。但在翻译时要灵活，有时可不必译出。

⑦ 「でも」 是接续助词，接在用言连用形后面，表示一种让步意义的转折关系，相当于汉语的「即使…」。

也……」。

- ⑧ 「たり」 是并列助词，连接在用言、部分助动词后面，「……たり……たりする」表示交替发生的动作，含有「一会儿……一会儿」「又……又……」等意思。例：日曜日、彼は手紙を書いたり、雑誌を読んだりした。（星期天，他写了信，又看了杂志。）

- ⑨ 词组「気がつく」 意为「留神、注意到」。

- ⑩ 「目盛りを刻む」 意为「在计器上刻上分度」。

- ⑪ 「うち（内）」 可作「时候、时期」。「うちに」可上接用言连体形，例：暗くならないうちに早く帰ろう。（趁着天还没黑，快回去吧。）

- ⑫ 「……からだ」 接在句子或用言、助动词的终止形后，表示原因、理由，意为「是因为……的缘故」。

- ⑬ 「……に違いない」 接在体言、动词连体形等后面，表示确定，意为「一定」。

- ⑭ 「か」 是副助词，接在疑问代词后面，表示不确定。例：何かおこったのですか。（出了什么事吗？）教室にだれかいますか。（教室里有什人吗？）

- ⑮ 「ぞ」 是终助词，接在用言、助动词的终止形后，表示强调自己的主张，促使对方注意，是男子用语。例：明日の出発は早いんだぞ。（明天出发很早啊！）而「かも知れない」是一惯用句型，意为「说不定……」「也许……」。

- ⑯ 「のに」 是接续助词，接在用言的连体形后，表示前后两件事不相适应或后者不合逻辑。可译「却、倒」。例：雨が降っているのに彼は出かけた。（外面下着雨，他却出去了。）

- ⑰ 「なんて」 下接形容动词、形容动词的连体形加体言，再接「だろう」，表示感叹的语气，意为「多么……啊」。「なんて」也可说「なんと」。例：何て（なんと）きれいな花だろう。（多么美丽的花啊！）

- ⑱ 格助词「の」 接在体言后面，还可表示副句中的主语。本句里的「の」可用「が」替换。例：この工場に

は性能のよい電子装置がある。(这个工厂里有性能良好的电子设备。)

参考译文

市长先生的气压计

想要摆脱天气占卜，并使用仪器来进行天气预报，这是距今约三百年前的事。

温度计的发明

首先，在一五九二年左右，意大利的伽里略已发明了温度计。它是这样一种装置：在水中立一根玻璃管，管子顶端呈球形，由于温度不同，球内空气的体积随之变化，这时管内的水面就会忽上忽下，温度发生变化。但是，不大精确。

到了一六四〇年，意大利的科学家弗莱茨，在抽去空气的玻璃管里装入酒精，做成酒精温度计。在一七二〇年，荷兰的范列哈托，制成了第一个水银温度计。这样，才逐步得以正确地测定温度。

气压计的发明

另一方面，制造出气压计，头一个进行天气预报的是德国的曼古迭布鲁达市的市长盖立凯，这还是一六六〇年的事。

盖立凯很爱玩弄机器。他利用泵，把各种各样东西里的空气抽出，做真空的实验。有时，盖立凯在水桶中立一长管，把管子的上端堵住，然后抽去管内的空气，水就在管子里升了起来。

「水大概可升到多高呢。」

盖立凯换了一根更长的管子，使它顶到二楼的窗户。水依然升起来。接上一根管子，使它顶到三楼，水还是升起来。再把管子加长，升到四楼的时候，水没能升到管子的顶端，而在三楼和四楼的中间停住了。

盖立凯就在水停住的管子那部分安上玻璃，以便从外面能看得见水。管子里的水柱，离地面约有10米高。

不久，盖立凯又注意到，由于太阳的关系，水停住的位置有时高，有时低。盖立凯在按上玻璃的地方刻上度数，并让一个玩具娃娃在水面上浮着。水柱的高度就是通过玩

具娃娃来了解的。

每天，在注视娃娃的时候，盖立凯注意到一个奇怪的现象。由于天气的关系，水柱的高度是不同的。晴天的时候就升高、雨天的时候就变低。

盖立凯认为：

「水在管中升起，是因为水桶里的水面受空气推动的缘故。水没有上升到高于10米的地方，那是因为空气推动水面的力，同10米的水柱重量相等而达到平衡。这样，随着天气的变化，推动水面的空气力一定是时强、时弱。正因为这样，水柱的高度也就发生变化了。」

气压和天气的关系

有一天，小玩具娃娃反常地使劲地往下面沉去，盖立凯发现这种情况，显得紧张起来。

「娃娃这样往下沉还是第一次。这一定是要发生什么事。」

盖立凯飞快向市政府跑去，并通知说：

「暴风雨大概要来了！」

人们朝天空望望，笑了起来。

「市长真有点怪啊，这样好的天气，说是暴风雨要来……。」

但是，不到两小时的功夫，风呼呼地刮了起来。

「猜中了，猜中了！」

盖立凯兴奋地叫着，忘记了暴风雨的凶猛。

「真是个准确预报天气的市长啊！」

街上的人群非常钦佩，而盖立凯的名声也愈来愈高。

正如盖立凯所认为的，大气的压力始终是变化的。盖立凯发现了气压和天气有着密切的联系。

这样，使用仪器观测气象的学问之路，一点点地随之展开。

但是，这个盖立凯除了极特别的时候外，是不能预报天气的。对天气的预报来说，还需要进一步调查许多地方的气压。

徐天淦 译注

人を表わすことば

私たちがことばを使って対話を行う時に、必ずしなければならない①ことがある。それは、いったい誰が誰に対して②話をしているのかを明らかにすることである。

たとえば英語を母国語としている③人たちに、あなたのことばでは④、話し手が自分のことを言う時、どんなことばを使いますかと尋ねれば⑤、きっと、「だとかmeだとか答えるだろう。フランス人に聞けば、jeとか me moiなどと返事するに違いない⑥。

それでは、話しの手を指すことばはどうかと聞けば、英語なら you、フランス語では tu、そして丁寧形の vous などが用いられている⑦と教えられる。

このようにヨーロッパの多くの言語では話し手と話しの手を示すことばに關する⑧しくみは大同小異であって、人称代名詞という⑨名で呼ばれる極めて限られた数のことばから成り立っている⑩。西欧語の文法で一人称代名詞とは⑪話し手を